

## 【緊急声明】

# 東京パラリンピックの開催中止を求める

2021年8月25日

大阪民主医療機関連合会会長 大島 民旗  
耳原総合病院病院長 河原林正敏  
西淀病院病院長 福島 啓  
コープおおさか病院院長 西上 喜房  
東大阪生協病院院長 橋田亜由美

新型コロナウイルス「第5波」による全国的な感染爆発で、この1週間で新規感染者は15万人超という事態となっています。重症者数も過去最多を更新しています。自宅療養者も激増し、厚生労働省によると8月18日時点で、全国で9万6857人に上り、自宅療養中に容体が急変し、自宅で死亡するという悲惨な事態が増加の一途をたどっています。極めて異常な事態です。例えば、地震などが発生し、街中に大けがをした大勢の人が何日も放置されていたとしたら、社会は大混乱となります。今、大都市を中心に全国ではこのような状況が広がっています。「大災害級」の危機というのは、まさに今の状態ではないでしょうか。

厚生労働省と東京都が、都内の全医療機関に病床確保と最大限の患者受け入れを要請し、正当な理由なく従わなかった場合、医療機関名を公表すると発表しました。これは医療の実態を無視した暴論です。

しかし、一方でオリンピックに続いてパラリンピックが開催されました。緊急事態宣言下にもかかわらず東京オリンピックを強行したことが、感染抑止の取り組みの大きな妨げとなり、感染急拡大に拍車をかけたことは明白です。このような状況下で東京パラリンピックを開催することは、さらに感染拡大に拍車をかけ、救える命も救えなくなる可能性が高いことを意味します。しかも修学旅行も遠足も中止となる一方、パラリンピックに児童・生徒を強制動員することは、到底考えられない事態です。

以上の理由から、アンドリュー・パーソンズ国際パラリンピック委員会会長、菅義偉首相、丸川珠代五輪担当相、小池百合子東京都知事、橋本聖子大会組織委員会会長に対し、人々の命を守るために東京パラリンピック中止の決断を強く求めます。